

## 復興構想会議 「国」と「国民」が被災者を犠牲にしないために

菅内閣は先月、東日本大震災からの復興計画の青写真を描く首相主宰の「東日本大震災復興構想会議」を設置することを決定し、毎週会議が開かれているようです。議長は五百旗頭真・防衛大学校長です。

気になるのは、菅首相は「ただ元に戻す復興でなく、改めてつくり出す、創造的な復興を」としていることです。これに、五百旗頭 議長は、白村江の戦いには敗れたが50年後に平城京を造った。ペリー来航の50年後にはロシアとの戦いに勝った。第二次大戦後も見事に経済復興していると、戦争を取り上げ、意気込みを披露しています。さすが防衛大学校長！ では済まされません。

さらに、福島第一原発については「今も危機管理的な状況にある(4月14日発言)」として、復興ビジョンの対象から外す考えのようです。この復興会議が、脱原発の動きから目を遠ざけ、規制しようという思惑が見えてきます。さすがにこの考えは、参加委員から異論が出たそうで、少しはホッとします。

合わせて巨額の復興財源の確保には「震災復興税」が必要とも言っています。どちらも、目を離すわけにはいきません。

### 5月3日は 憲法記念日です

もう一つ気になるのが、「被災地主体の復興を基本」としながらも、「国としての全体計画」「創造的復興」「全国民的な支援と負担」「明日の日本の希望となる青写真づくり」という基本方針です。

委員には被災地の県知事も含まれています。が、被災され避難生活をされているほとんどの皆さんが、元の生活を 愛着のある元の場所で、と希望しています。この「基本方針」が、被災された皆さんの希望を 無視 して、元の生活とは全く別 な「青写真」を勝手に描いて、愛着のある元の場所 とは全く別な場所を「創造」させないように見守らなければなりません。

5月3日は「日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する」日です。「国の成長」とは国民一人ひとりの成長のことです。国民が、「国」の犠牲になってはいけません。復興構想会議が進む過程で、私たちが声を上げ、行動しなくても良いように関心を持って見守りましょう。

私たち「国民」が被災者と被災地を 犠牲に しないために